

# きらら



第16号

発行 社会福祉法人カナン

編集 カナン広報委員会

## カナン秋祭り

十三回目を迎えました

十月二十七日、天候にも恵まれ前田本部長の開会の挨拶からお祭りの幕が開きました。入居者様による音楽療法では、日頃の成果を披露されました。



皆さん元気に歌われています

子供達に人気だったのはゲームコーナーの輪投げでした。職員による出し物では男性職員が女装をし、あんり三階の松本リーダーが登場した時は入居者様も家族様もそのキュートさに驚いて写真を撮ってください撮られていました。



職員によるダンス♪



会場は大盛り上がり！！



一期一会のコーラス隊では、透き通る歌声に感動しました。皆さんで楽しく歌っている姿が印象的でした。最後に、にしき連による阿波踊りが始まり、最初に担当している楽器を一人一人紹介してくださり「この楽器はこんな音が鳴るんだな」と皆さん興味津々。その音が全部重なって阿波踊りの演奏が始まり、女踊り、男踊りを職員がレクチャーを受けました。最後は皆さんで輪になって阿波踊りを踊りました。入居者様も楽しそうに踊られていてこちらも嬉しい気持ちになりました。また、入居者様の家族様や職員の協力のおかげでバザーを出店させていただくことができました。今回ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## いつまでも健やかに…

九月十五日に敬老祝賀会を開催しました。昼食は敬老の祝い御膳を家族様と一緒に召し上がっていただきました。長寿の式典では、米寿、白寿、最長寿の方への花束贈呈が行われました。今年度はステージを作成し一人ずつステージが上がっていただきました。その後は河南中学校の吹奏楽部の演奏会と河南高校の和太鼓部の演奏会が行われました。吹奏楽部の素晴らしい演奏と和太鼓の迫力ある演奏に入居者様も聞き入っておられました。和太鼓の演奏時には生徒さんと一緒に太鼓を叩いて楽しまれている入居者様もおられました。これからも入居者様、家族様に楽しんでいただけるよう職員一同頑張ります。



皆さんで太鼓をたたきました



ステキな笑顔です

## 法人交流研修会

九月十七日に社会福祉法人優心会特別養護老人ホームこうのとりとさんと法人交流研修会を行いました。平野区にある施設であり、ゆとりと同じく全室個室の完全ユニット型で個別ケアに特化した施設です。交流会の目的は、他施設の取り組みを聞いて視野を広げ自施設のケアに生かす、交流を行うことで、福祉施設における課題を共有し、解決にむけて取り組むこととしています。第一回目は、自法人から八尾施設長、北浦介護課長、島看護・生活支援課長、藤井介護主任、西野リーダー、西村リーダーが訪問し、取り組み発表を行いました。内容は、個別支援についてとNST（栄養サポートチーム）の取り組みについて発表を行いました。発表後は、積極的な意見交換を行い、互いに学びの多い研修となりました。第二回目は、ここのとりの皆さんの職員をお招きし研修会を行う予定です。これから、現状に満足することなく、研修等に積極的に参加し、他施設から学び、刺激を受け、自施設のケアの質の向上に努めていきます。



カナンの取り組みを発表中

## 介護教室

今年度は「介護保険制度や介護サービスについて」をテーマに取り組んでいます。講義は当法人のケアマネジャーを中心に、その中でクイズコーナーや劇を組み込むなど、参加いただいている方に考えたり、楽しい時間をすごしていただけるようにしています。今回、新たな取り組みとして、職員と参加いただいた方でグループになり「介護」について自由に話し合いをする時間を設けました。大変盛り上がり、終了時間になっても話しが終わらないグループもありました。来年度以降も継続して取り組んで参りますので、皆様のご参加をお待ちしています。



今回は「終活について」でした

## デイサービス活動状況

利用者が苦手とする立ち上がり動作の維持向上に向けた運動を行っています。最初はなかなか上手く立ち上がれなかった方も、レッドコードを使い、少しずつ重心移動ができるようになりました。音楽クラブではハンドベルで季節の童謡を演奏しています。皆さん熱心に取り組まれます。皆さん音色を奏でておられます。ダンスクラブでは盆踊りから、座つて行う座フラダンス等、楽しみながら体を動かし生き活きとされています。



▲スムーズに立ちあがれるように

## 百寿おめでとうございます

2月6日で100歳を迎える入居者様のお祝いの式典をゆうりで行いました。ご家族様、河南町長もお祝いに駆けつけてくださいました。施設職員も含めたたくさんの方々に見守られ、笑顔も多く大変喜ばれていました。これからもいっぱい食べて、いっぱいお話しして、いっぱい笑って素敵な笑顔を私達に見せてくださいね。



祝100歳  
片野マサ子様  
おめでとうございます

秋の味覚といえは...

芋掘りの行事も今年で三年目になります。汚れても良い服装に着替え出かけました。畑を歩く時は「柔らかいから歩きにくいわ」と言いながらも、職員と一緒に歩かれています。芋は掘ってくれているのですが、つるから芋を取っていかなくてはならないので、土の上に座り一つずつとってはカゴに入れる作業をしました。畑仕事をされていた方もいるので、ついでに土をきれいに落としてカゴの中に入れる人、食べられるの？と言うぐらいの小さな芋を入れる人など職員とワイワイ言いながら二個のカゴがいっぱいになるほどの収穫をしました。協力いただいた河南町老人クラブ連合会の皆様ありがとうございました。



おやつに最高！！

ピザ作り

男性職員が主となり、昼食にピザを焼いて提供しました。今回は、具材を入居者様に切ってもらうことを試みました。職員が側につき切っていたと「久しぶりに包丁使うな」「ちよっと太くなったわ」など、主婦をしていた時を思い出して切ってくれていました。餃

子の皮をベースにピザを作ったの

ですが、入居者様は副食に思われ「御飯は？」と言われる場面もありましたが、皆さん「美味しい」と言いながら何枚も食べられていました。美味しく食べられているときの入居者様の顔はいつも良い表情をされています。



焼き上がりが楽しみです

インスタ映え！

天候に恵まれスムーズに天保山に到着し、観覧車に乗ることができました。一番上からは、外国船とあべのハルカスが見えました。「わあーすーいわあ。乗れて良かった。楽しいわあ」と、とても満足されていました。昼食はあんかけラーメンを召し上がられ「熱いからなかなか減らへんなあ」と言われ、おやつはマンゴ



ーのソフトクリームをあつという間に召し上がっておられました。



天保山で記念撮影♪

お肩をたたきましょー♪

八月二十三日、汐の宮保育園との交流会を行いました。園児十五名、先生三名と大勢の方が交流会に来ていただきました。子供たちの歌や体操、肩たたきをしてくださいました。入居者様が肩をたたいてもらおうと「気持ちいいわ」と笑顔でおっしゃっていました。また、子どもたちによる合唱でふるさとを歌うと感動のあまり涙される方もおられました。汐の宮保育園の皆様ありがとうございました。



微笑ましい情景です

コーヒーでほっと一息

スターバックスに行った経緯は古川様との会話の中で「喫茶店にいきたくいと言われたのがきっかけです。店内は車椅子の方でも十分なスペースもあり、平日の午前中で空いていてゆっくりとコーヒーを飲むことができました。このコーヒーおいしいわね」と会話も弾み笑顔も多くみられました。また行きましょーね。



おいしい！とにっこり

目の前で焼きあがるワクワク

管理栄養士の大杉です。十月二十一日あんりショートステイの昼食で利用者様の目の前で焼き鳥を焼いて提供させていただきました。焼き始めるといい匂いがして食べる前から楽しみにされています。ねぎま、つくね、しいたけ、玉ねぎの四種類で一通り食べ終えると次はご自分で選ばれて追加で召し上がられていました。いつもは配膳したものを召し上がっていただいておりますが、その日はできたてをお出しすることができたので、すこしい笑顔で喜んでいただけました。今後もこのような取り組みを継続していきたいと思



熱々でおいそうです

機能訓練(特養部門)

機能訓練指導員の阪川です。現在、特養部門では機能訓練指導員を中心にセーフティケアを推進しており、福祉用具の活用・職員の介助技術の向上を図っています。今年度は、地域の事業者連絡会でセーフティケアについて情報発信する機会があり、カナンでの取り組みを熱く伝えることができました。これからも「誰からも観ても良い CARE 良い移乗」を目指して、セーフティケアをカナンの内外共に熱く伝えていきたいと思

家族会からの寄贈

今年度は家族会様より、床走行型リフトを二台寄贈していただきました。カナンでは平成三十年から「職員と入居者様の安心・安全は等しく大切である」という理念の元、セーフティケアに取り組んでおり、今年で二年目を迎えました。取り組み開始当初から、家族会様に協力をいただき徐々に福祉用具の設置が充実してきていま



寄贈いただいた福祉用具



す。今後も入居者様、職員が共ににより良い環境で過ごせるようにセーフティケアを推進していきます。

カナンで働く職員を紹介  
■訪問介護ってどんな仕事？

私達訪問介護職員は、ケアマネジャーの立てた計画に基づき訪問介護計画を立て、サービスを提供させていただきます。利用される皆様が少しでも今までできていた家事や外出(買物等)が継続できるよう、また、自宅での生活が安全で安心して過ごすことができるようお手伝いさせていただきます。このような趣旨で訪問をさせていただくのですが、とすると多くの利用者様は、お手伝いさん代わりに家事を任せられます。身体介護の場合は、明確に介護内容が分かるのですが、家事支援については、どこまでが支援とされるのか、また支援ではないと捉えるのか曖昧な部分もあり、利用者様のこだわりなども相まって難しい所です。この10月からの介護保険法改正では「共に行う」が強調され、ただ家事を行うのではなく、利用者様と一緒に家事を行い、今までの生活を少しでも長く継続していただくことが必要であるとされています。私達のヘルパーステーションでも「共に行う」を前提に、計画を立て、サービスに繋げていきたいと考えています。これからも皆様の身近で、声を聞きながらより安定した生活を送っていただけるよう頑張りたいと思っていますので、何かありましたら連絡をお待ちしております。

